

# 男女共同参画社会に関する県民意識調査

---

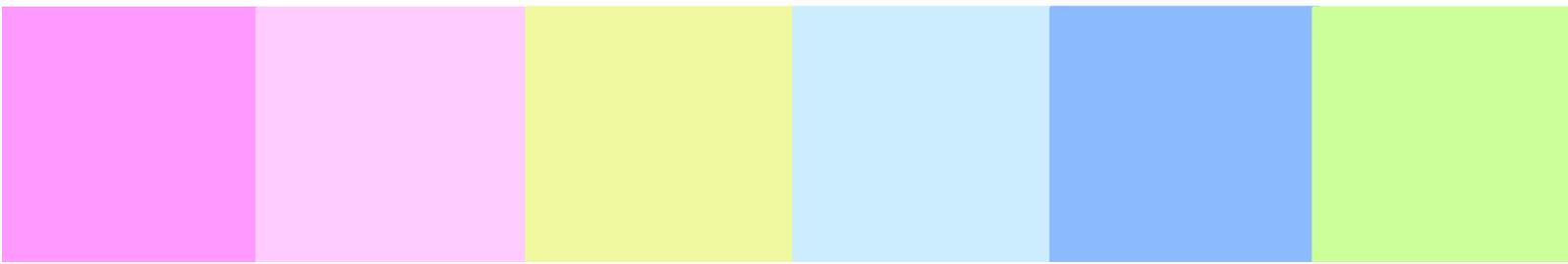
## 報告書

---

概要版

平成27年1月

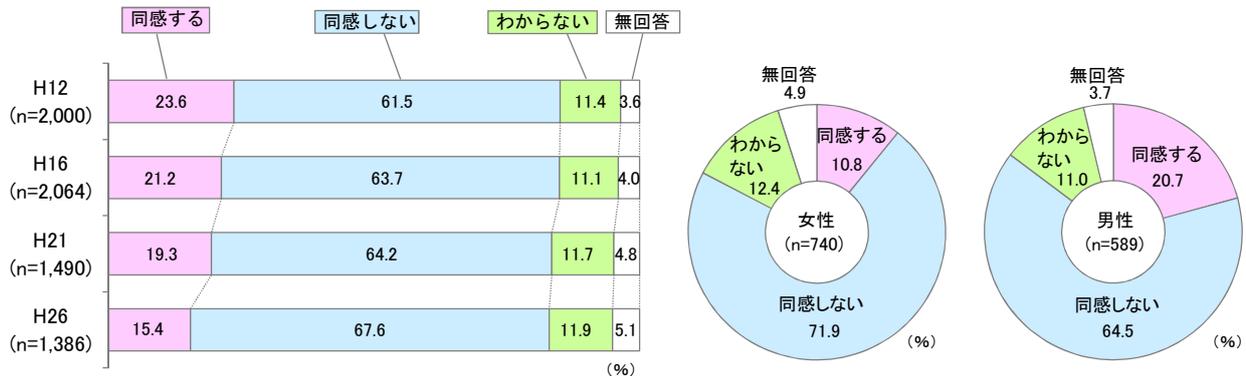
岡山県



# I 男女の役割分担意識や家庭観について

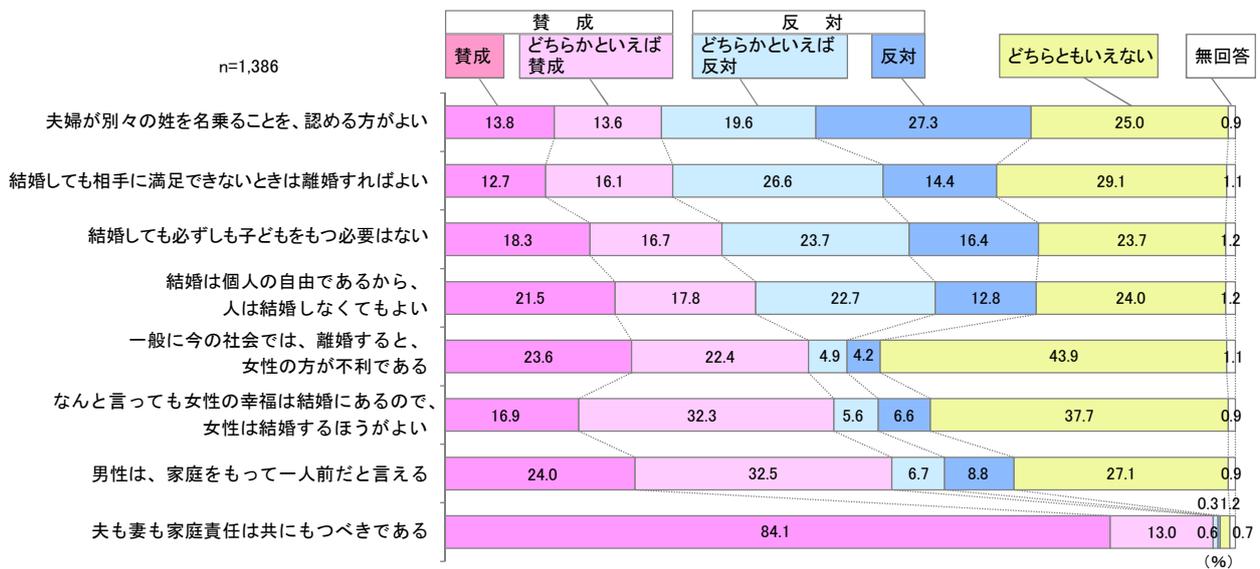
## 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識

「同感しない」人が全体の6割以上を占め、調査年ごとに増加



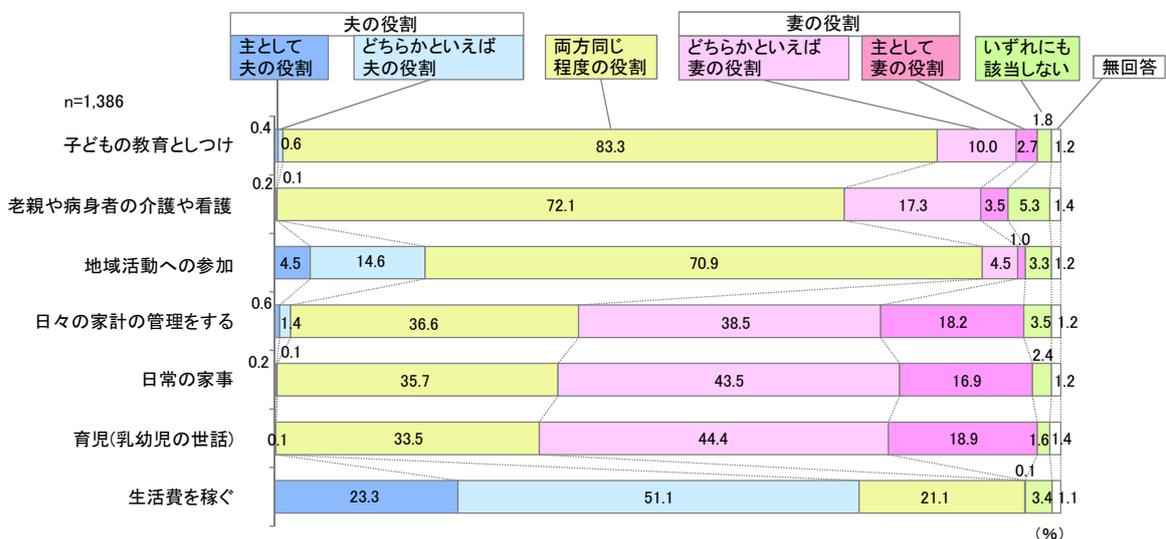
## 結婚・家庭・離婚・夫婦別姓等についての考え方

「夫も妻も家庭責任は共にもつべきである」は97.1%が『賛成』



## 家庭での仕事の役割についての考え方

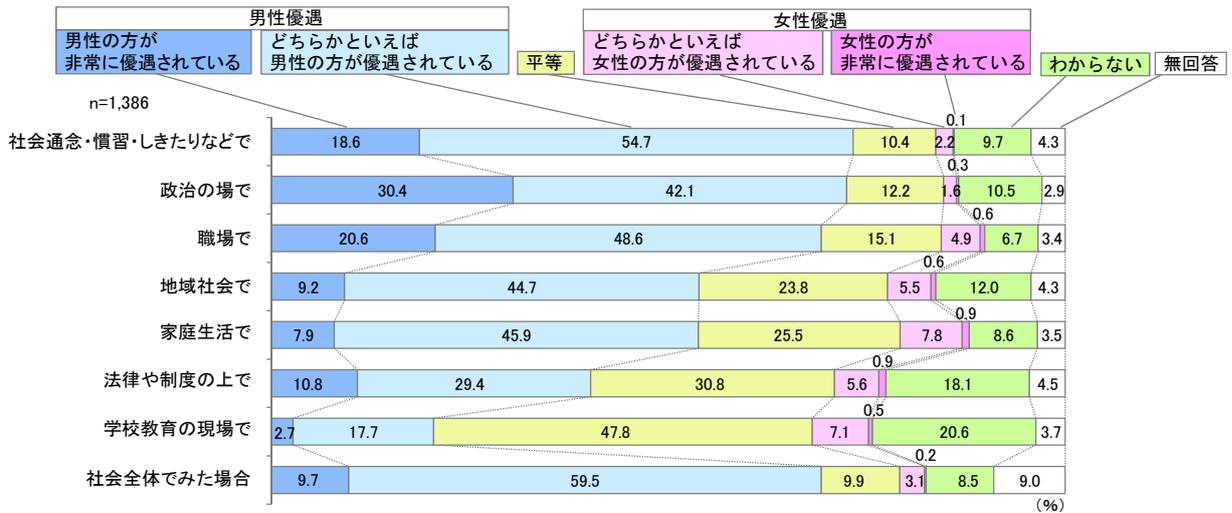
「日々の家計の管理をする」、「日常の家事」、「育児」は妻の役割、「生活費を稼ぐ」は夫の役割との認識が強い



## Ⅱ 男女の地位の平等などについて

### 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識

「学校教育の現場で」を除くすべての分野で、『男性が優遇』されていると強く感じられている

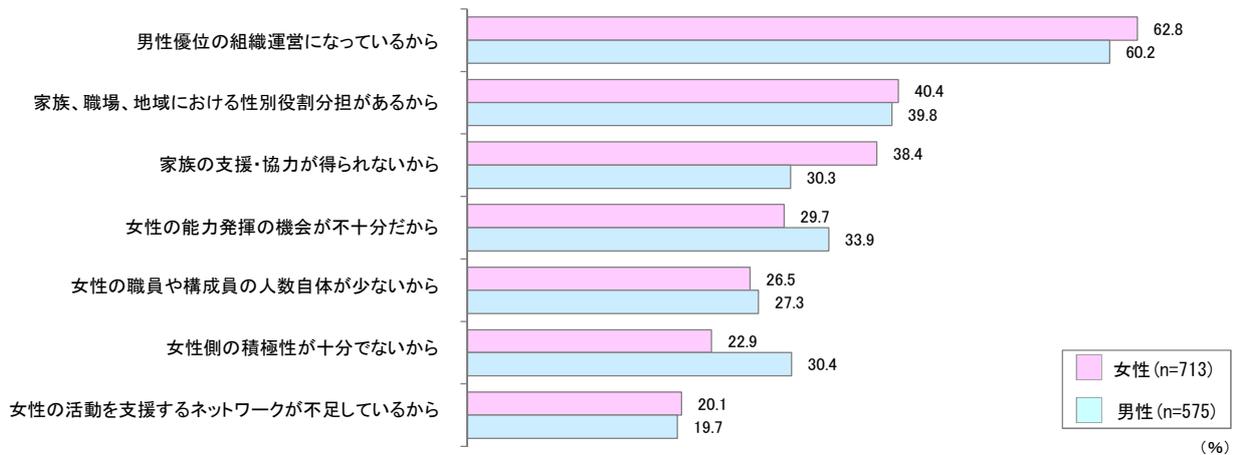


## Ⅲ 女性の参画について

### 政策・方針決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由（上位7項目）

「男性優位の組織運営になっているから」が6割を超える

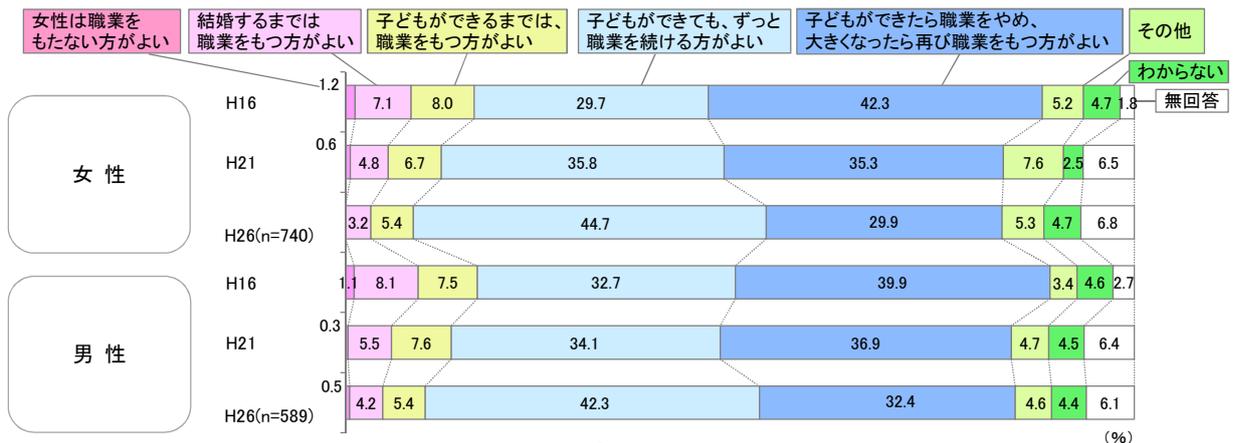
<複数回答>



## Ⅳ 女性の就労について

### 女性が職業をもつことについての考え方

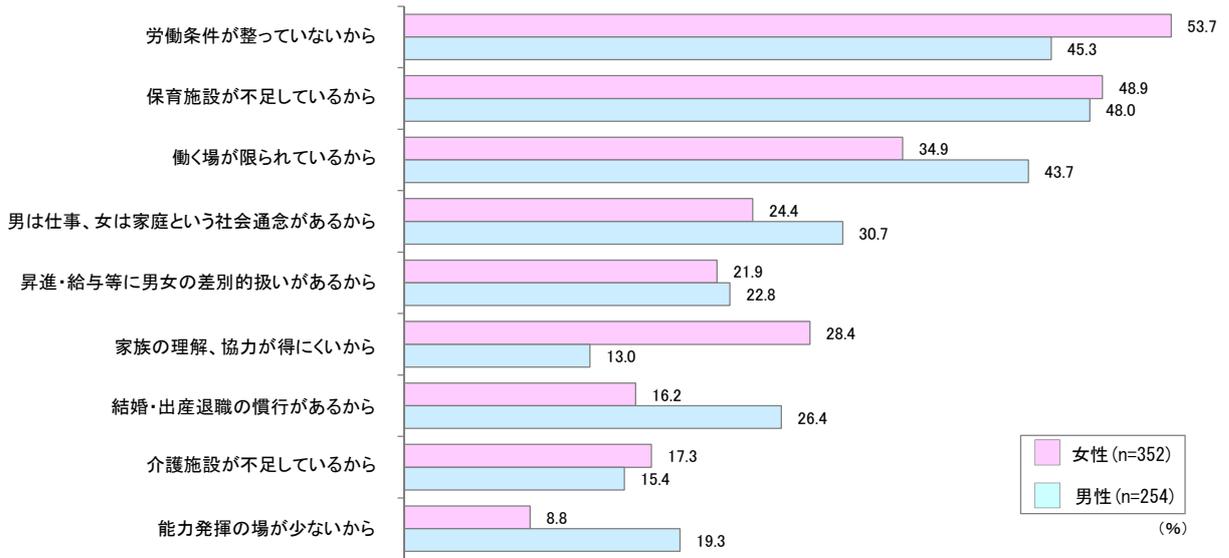
「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が最多に



## 女性が働きにくい理由(上位9項目)

「労働条件が整っていないから」が女性では約5割、男性では約4割と高くなっている

対象：女性が働きやすい状況にあるとは思わない人<複数回答>

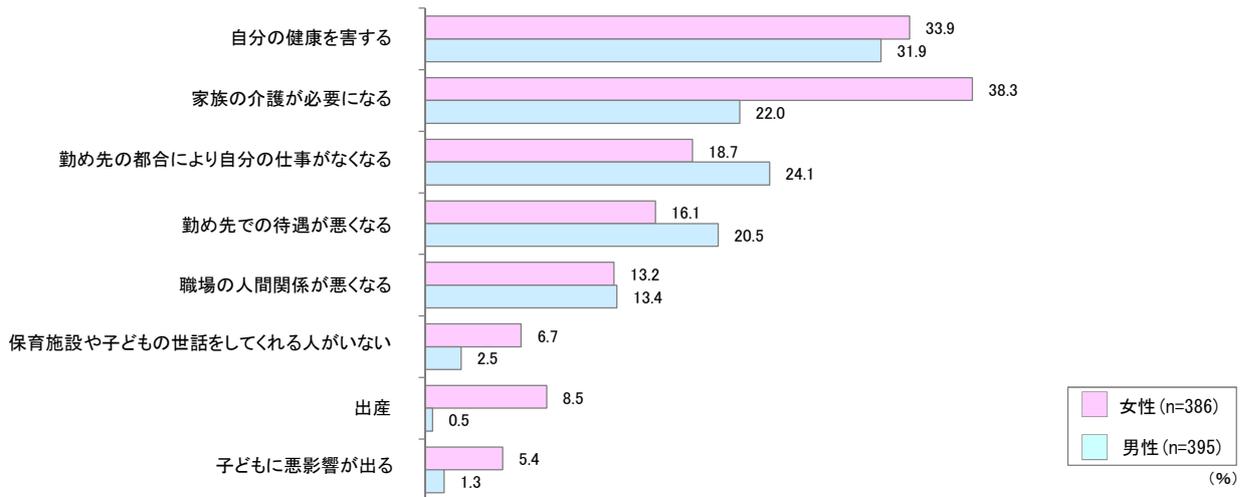


## V ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

### 仕事の継続に対する不安(上位8項目)

女性は男性に比べて「家族の介護」、「出産」等家族関係の要因が多い

対象：現在職業をもっている人<複数回答>



### 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由(上位8項目)

「結婚のため」、「出産・育児のため」で男女に大きな差がみられる

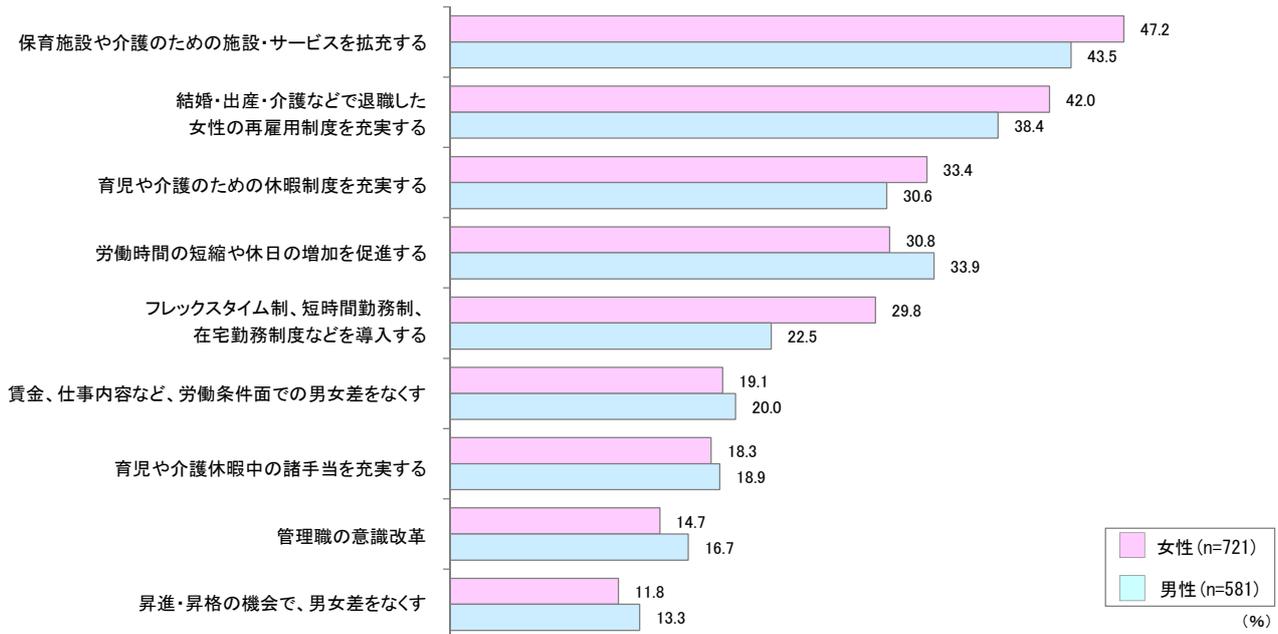
<複数回答>



## 男女が共に「仕事と生活の調和」を図るために必要なこと(上位9項目)

「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」への期待が強い

<複数回答>

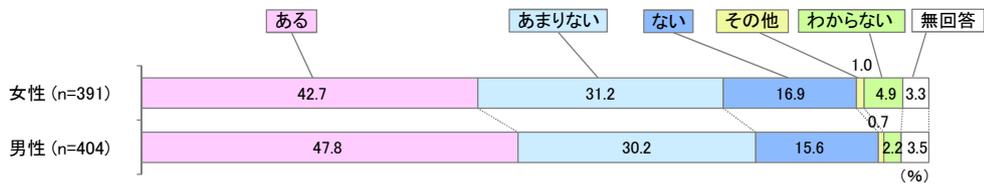


## VI 男性の長時間労働等働き方の見直しについて

### 長時間労働等により家庭や地域活動に関われないことの有無

男女ともに4割以上の方が、長時間労働等により家庭や地域活動に関われないことがある

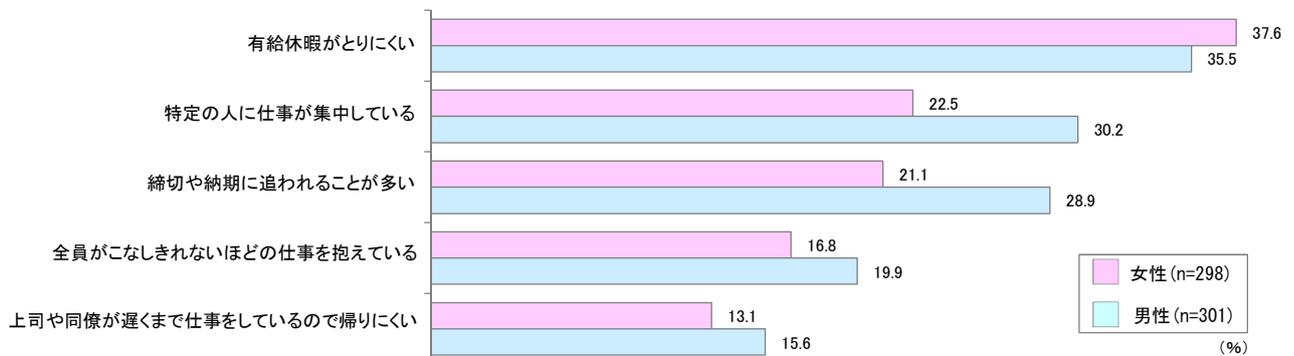
対象：現在職業をもっている人



### 職場の状況(上位5項目)

男女ともに3割以上の方が、「有給休暇がとりにくい」と感じている

対象：現在職業をもっている人<複数回答>

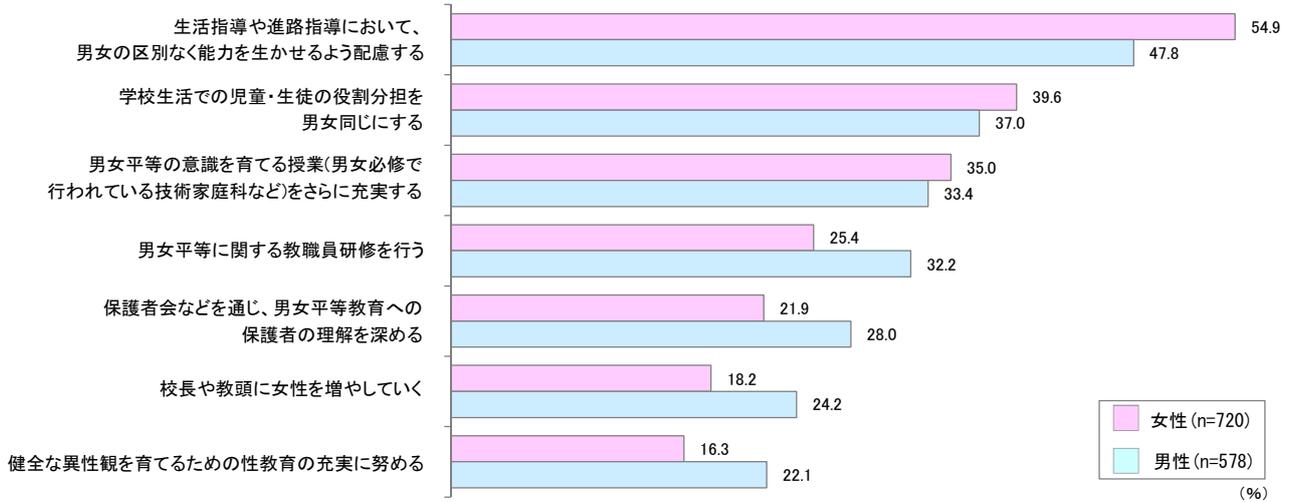


## VII 男女平等教育について

### 学校教育において男女平等を推進していくために必要なこと(上位7項目)

「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」が約5割で最も高い

<複数回答>



## VIII 人権について

### 配偶者や恋人関係にあった者から受けたことのある行為

配偶者や恋人がいる(いた)女性の3人に1人が配偶者や恋人から何らかの精神的暴力を受けたことがある

対象：配偶者・恋人がいる(いた)人<複数回答>



身体的暴力：骨折させる、突き飛ばす、ドアをけったり壁にものを投げつけたりしておどす、平手で打つ、殴る、けるなど  
 性的暴力：いやがっているのに性的な行為を強要する、見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる  
 精神的暴力：長時間無視し続ける、交友関係や電話を細かく監視する、大声でどなるなど  
 経済的暴力：生活に必要なお金を渡さない、食事をさせない、収入を取り上げる、外で働くことを妨げる

### 命の危険を感じたこと

配偶者や恋人がいる(いた)女性の16人に1人が命の危険を感じたことがある

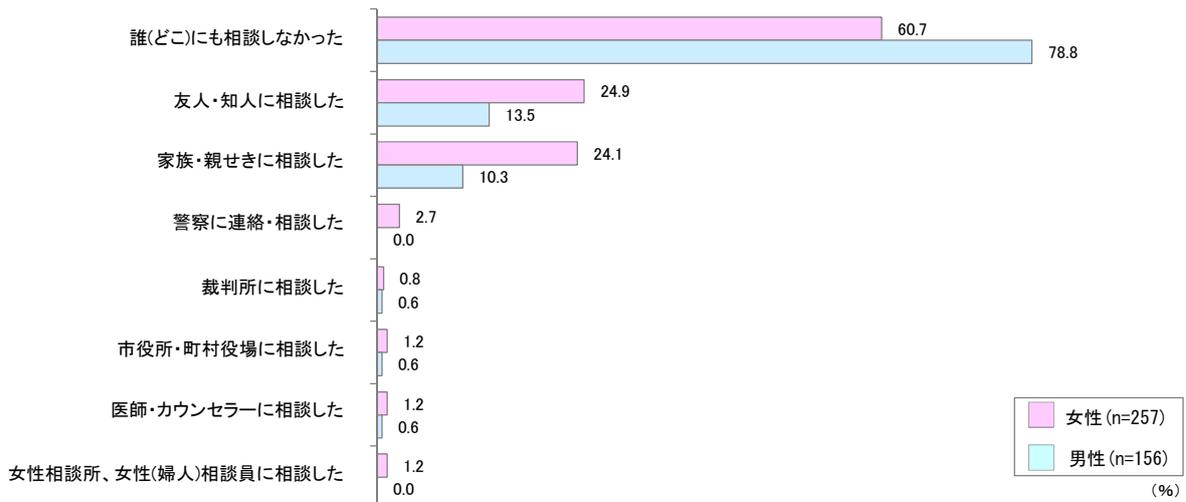
対象：配偶者・恋人がいる(いた)人



## 配偶者からの暴力についての相談先(上位8項目)

誰(どこ)にも相談していない人は女性で6割、男性で約8割、相談先は「友人・知人」、「家族・親せき」が多い

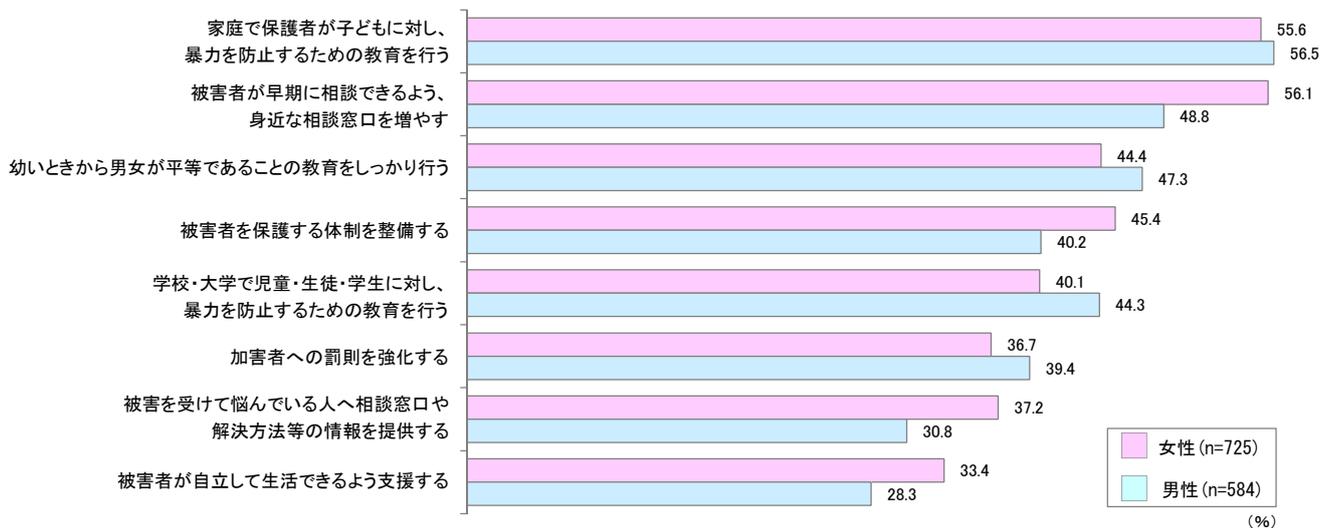
対象：何らかの暴力を受けたことのある人<複数回答>



## 男女間の暴力を防止するために必要なこと(上位8項目)

「家庭での暴力防止教育」が男女ともに半数を超える、「身近な相談窓口を増やす」も多い

<複数回答>

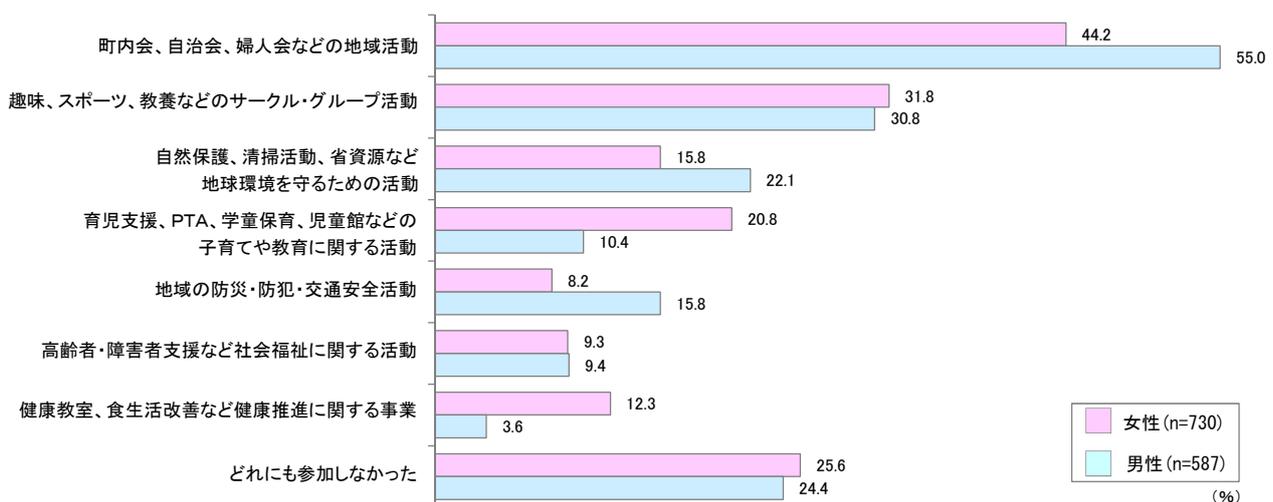


## Ⅸ 男女が共に支える活力あふれる地域社会づくりについて

### 参加した地域活動(上位8項目)

「町内会、自治会、婦人会などの地域活動」に参加した男性は半数を超える

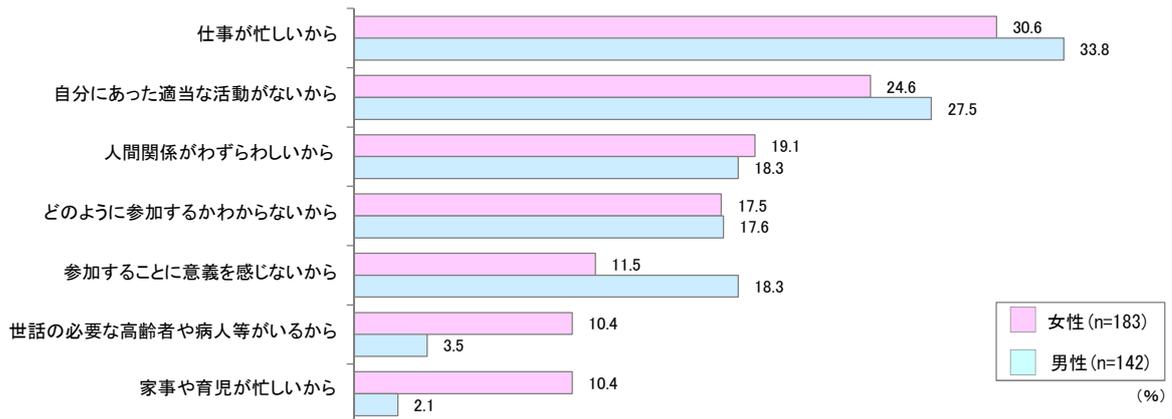
<複数回答>



## 参加しなかった理由(上位7項目)

男女ともに「仕事が忙しいから」が約3割で最も高い

対象：地域活動に参加しなかった人<複数回答>

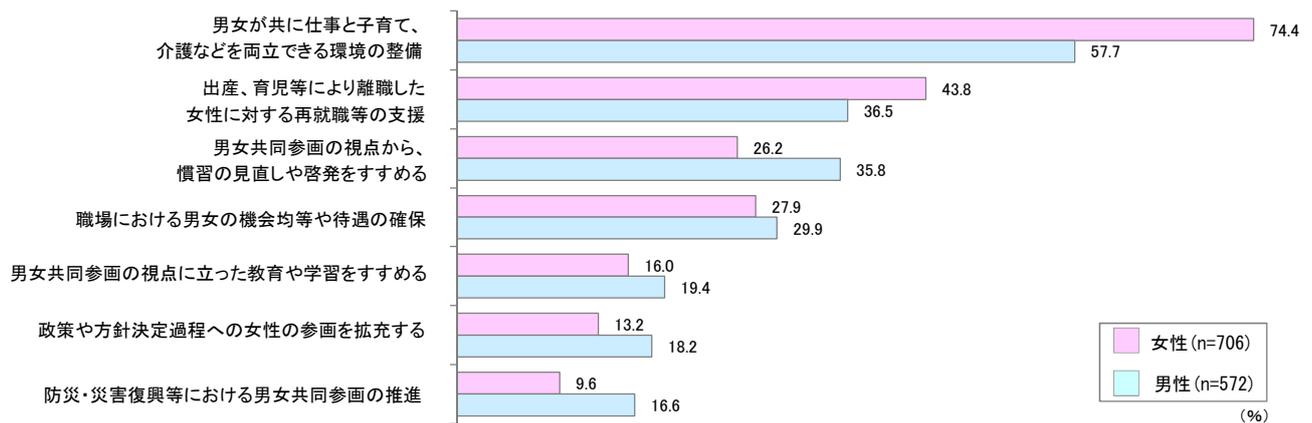


## X 男女共同参画の推進について

### 男女共同参画社会の実現のために行政が力を入れていくべきこと(上位7項目)

「男女が共に仕事と子育て、介護などを両立できる環境の整備」が女性で7割を超える

<複数回答>



## 岡山県県民生活部男女共同参画青少年課

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号

T E L : 086-226-0553 F A X : 086-225-2949

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/26/>

### 調査の概要

調査地域	岡山県全域		
調査対象	岡山県内に居住する20歳以上の男女3,016名		
調査方法	郵送配布一郵送回収		
調査期間	平成26年10月～11月		
回収数	1,387件	(回収率 46.0%)	
有効回収数	1,386件	(有効回収率 46.0%)	
	うち女性	740件	(53.4%)
	男性	589件	(42.5%)
	無回答	57件	(4.1%)